

～在留邦人の皆様へ～

インドの大気汚染と粒子状物質（PM10 及び PM2.5）について（その2）

平成 25 年 11 月 6 日
在インド日本国大使館

1. インドでは、例年、雨期が終わり気温の低下する時期から、大気汚染が顕著となる傾向にあります^{（出典¹）}。大気汚染物質のうち、特に粒子状物質（PM10 および PM2.5）については、吸入による呼吸器系や循環器系への影響が懸念されており、先月、世界保健機関（WHO）の専門機関である国際がん研究機関（IARC）は、粒子状物質を「人体において発がん性がある」大気汚染物質の一つに分類しました^{（出典²）}。

また、当地での複数の報道によれば、先の Diwali に伴う爆竹の使用も影響し、現在のデリー市内では粒子状物質（PM10 および PM2.5）を含む各種大気汚染物質の濃度が高い状態となっており、注意が必要です。

2. 大気汚染対策として、一般的に以下の対策が考えられます。特に、汚染が激しいと考えられるときには、これらの対策をとることをお勧めします。

- （1） 不要不急の外出や長時間の屋外活動を避ける。
- （2） 外出時にはマスク（防塵マスク、サージカルマスクなど）を正しく着用する。
- （3） 可能な限り窓は開放しない。住宅の隙間やドアなど外気の通り道をふさぐ。
- （4） 部屋のサイズに適した空気清浄機を選び、日常的に使用する。

3. なお、インドにおける大気汚染物質の濃度については、以下のような情報サイトがありますので、お伝えいたします。

- （1） デリー準州政府汚染制御委員会によるリアルタイム大気質データ

デリー市内数か所の観測点における、各種大気汚染物質（PM10、PM2.5 等）の測定値が表示されます。

<http://www.dpccairdata.com/dpccairdata/display/index.php>

- （2） インド熱帯気象研究所（地球科学省）大気質気象予測システム（SAFAR）

デリー市内 10 か所の観測点における、各種大気汚染物質（PM10、PM2.5 等）の測定値および、翌日、3 日後の予測値が表示されます。

<http://safar.tropmet.res.in/>

(出典)

1. Central Pollution Control Board (CPCB) 年次報告 (2010-2011)
http://www.cpcb.nic.in/upload/AnnualReports/AnnualReport_41_Annaul_Report_2010_11.pdf
2. 国際がん研究機関 (IARC) プレスリリース (10月17日)
http://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2013/pdfs/pr221_E.pdf

(参考資料)

1. 在インド日本国大使館ホームページ 「インドの大気汚染と粒子状物質 (PM10 及び PM2.5) について」 (2月27日)
<http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/pollution2013.html>
2. 在インド日本国大使館ホームページ (説明資料) 「インドにおける大気汚染と粒子状物質 (PM10 及び PM2.5) について」 (3月21日)
http://www.in.emb-japan.go.jp/PDF/pollution_2013.pdf
3. 環境省ホームページ 微小粒子状物質 (PM2.5) に関する情報
<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>